

日本人のころ

エッセイ 一日本人の生真面目さ、思い遣りの心を実感したこと一

コミュニケーション研究会 長本啓壮

はじめに

最近自然災害は別にして政治家、官僚、法人トップが不祥事で頭を下げる場面が往々にしてテレビ画面に映し出されます。。又、車の煽り運転、進路妨害、等の嫌がらせ行為、パワーハラスメント一容易に信じ難いことですが、神戸市の小学校に於ける教師 4 人に拠る同僚教師への嫌がらせ等一枚挙に暇がありません。

海外からも認められ、日本人自身も自負していると思われる良い意味での特筆すべき面は何処へ行ったのでしょうか？古来から日本人が持っている特性に付いては多彩な著者の記述も有ります。又、先輩諸氏がこのテーマで論文を書かれているのでここでは記述しません

冒頭に述べた様な最近の風潮の中で、思わず“日本人はまだ捨てたものでもないな”と言った経験をしましたので披露します。

昨年、平成 30 年 11 月 国立劇場・小劇場に姪の雅楽の演奏会を妻同伴で聞きに行きました。会が終わってタクシーで東京駅に行き料金を支払おうとした時財布が無い事に気が付きました。

ひょとしたら劇場の何処かに落としたのかも知れないと思い其の儘引き返して貰ったのですが、運転手に行きのタクシー会社名は判りますか？と言われ、たまたま領収書を貰っていたのでタクシー会社に電話したところ、車内で財布を見つけ八重洲口の交番に届けましたとの連絡を受けました。

そのまま同じタクシーで当該の交番に行くと確かに届けものは有りましたが既に本署の方に廻しましとの事。

財布を紛失した可能性の有る場所、タクシー会社への連絡方法等、色々アドバイスをしてくれて親切だったタクシーはその場で降りました。

その交番の巡査も親切で、本署まで行くタクシーを探してくれたり、取り扱い時間が迫っていたので受付時間を延長するよう手配してくれました。

手配通り、本署の受付窓口は開いていて無事財布は受け取る事が出来ました。中身を確認したところ現金。カードは間違いなく有りました。ただ、取得したタクシー会社でクレ

ジット会社にカードの遺失を連絡してくれていたのも、カードは使用停止の状態となり。再発行まで 1 週間程度掛かると云うオマケが付きましたが・・・改めて関係者各位の善意をつくづく感じた次第です。

本署担当窓口の婦人警官に“日本もまだまだ捨てたものでもないですね”と思わず言っ
てしまいました。

又、この財布を拾って届けてくれたタクシー運転手に対する謝礼も一切不要でした。

この事例をもって「日本人のこころ」が全て語れる訳ではありませんが、ほんの一例として日本人の資質を感じて貰えれば幸いです。

おわりに

非常に善意に満ちたこころ温まる実感をした経験でしたが、世間一般の状態は依然としてそれほど明るいものばかりでは有りません。毎日のように暗いニュースが流れています。

この原因は何だろうか？と考えた時、要因として有るのがフェースブック、ツイッター等の IT 媒体かも知れません。“顔”が見えない発信源が悪の根源のような気がします。

また、格差が広がり、貧しい下層階級には心にゆとりが無くなっているのかもしれない。政治屋、企業組織等の一部人間の不幸事があまりにも目に付きますがこれをもって日本の歴史、自然環境、等で培われて来た日本人資質が無くなったとは思いたく有りません。

古来からの自然に対する信仰、恐れ等もまだ残っています。崇り、のろい等、の言葉も存在しています。何か悪い事、人を傷付けるような事をすると崇り、のろい等が我が身に降りかかって来るのではないか・・・と思う気持ちがまだまだ日本人の中に有るような気がします。

ただ現代の若者はそうゆう不合理な感覚は薄れているようで、いずれは無くなるのではないかと云う感じもします。

日本人の思いやり、やさしさ、こころ配り等は日本を訪れる外国人に共感をもって受け入れられ、彼ら自身の帰国後の生活に大きな影響を与えていると思われま

す。ダイヤモンド オン ラインが発信していた記事に面白いものがありました。中国上海のモラル向上について記述したのですが、上海は中国最大の商業都市ですが、その商業モラルは酷いもので、にせもの横行、騙される方が悪いと云う風潮だったそうです。それが最近日本からの帰国者が持ち帰った日本の良さが受け入れられるようになり、にせもの売りが糾弾される風潮が広まっている状況との報告でした。

日本人の良さが世界に広がって行けばこれ程楽しいことは有りません。